

「市来農芸高等学校の虫追踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	鹿児島県立市来農芸高等学校
2. 学年・人数	3年生 3人 2年生 4人 1年生 7人 計 14人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年 9月17日(火)～9月19日(木) 川北交流センター 令和6年11月12日(火)～11月13日(水) 本校体育館 (2) 発表の日時・場所 令和6年9月29日(日) 大里地区各奉納場所(10カ所) 令和6年11月16日(土) 本校90周年記念式典オープニング
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	(1) 名 称 いちき串木野市指定無形民俗文化財 大里虫追踊り(おおさとむしおいどり) (2) 由 来 源平時代の武将斉藤別当実盛が晩年平維盛に仕え、源義仲を討つ戦で、 乗っていた馬が稲の切り株につまずき落馬したところを、敵に討たれてしま い、その実盛の怨霊が稲虫となって稲に害を及ぼすようになった。 この御霊を祀るために、虫追踊りが始められたと云われている。 (3) 構成等 踊り手は太鼓と鉦を持つ。太鼓は白ズボンにひざから下にはシュロの皮 を付け、白の鉢巻を締める。太鼓は胸に抱え、長い矢旗を背負う。 鉦は浴衣がけに白足袋と草履を履き、頭に花笠をかぶる。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	本校は文部科学省より農業経営者育成高等学校の指定を受けており、農業 科と畜産科の生徒は本校の双葉寮へ1年間の入寮が義務づけられている。 双葉寮では10年以上前から農業に関する伝統文化の継承に貢献すること を目的として、寮生に毎年参加を募っている。今年度は本踊りの参加だけ ではなく、本校創立90周年記念式典のオープニングでも披露した。 農業に関する専門学習の深化を図ることをもちろん、地域に貢献するとい う観点からも、今後も継続して取り組んでいきたい。
6. 取組の様子 (練習状況, 発 表の場等)	 <p style="text-align: center;">本踊り</p>  <p style="text-align: center;">90周年記念式典オープニング</p>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【参加生徒】 虫追踊りのように、日本には農業に関する多くの伝統行事があることを知 りました。保存会の方も双葉寮生が毎年参加してくれることを、とても喜ん おり、ぜひ、来年度も参加したいと思いました。</p> <p>【保護者】 寮生活を通して多くの経験をし、こういった行事にも積極的に参加するよ うになり、とても嬉しく思っている。</p>